

教えて！ほろみん先生

ジェイ・アール北海道バス深名線

～公共交通のあり方を今一度考えよう～



皆さんこんにちは、ほろみんです。今日はジェイ・アール北海道バス深名線の歴史や今後の課題について皆さんと考えてみたいと思います。

普段バスを利用する方も、あまり利用する頻度が少ない方も、この機会に「地域公共交通」という“住民の足の確保”に目を向けてみましょう。



HOROKANAI

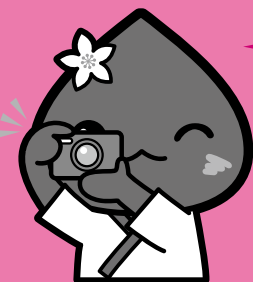
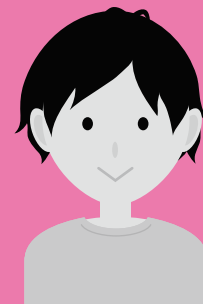
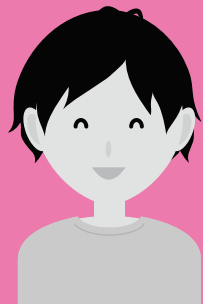


教えて！ほろみん先生

今日

ねえ、ほろみん先生。町内に昔、鉄道が走っていた深名線の跡地があるよね。幌加内の市街地や朱鞠内とかにも跡地として残っているのを見たことがあるよ。

特に、沼牛駅は「おかえり沼牛駅実行委員会」が、今でも綺麗な駅舎として維持・管理しているし、2016年12月号の広報紙の表紙になっていたね。



よく見てるね！鉄道跡地として、記念に保存してあるんだ。

深名線は、北海道旅客鉄道（JR北海道）の前身である日本国有鉄道が運営していた鉄道路線だったんだよ！

深川市（深川駅）から幌加内町を経て名寄市（名寄駅）までを結ぶ公共交通路線として、非常に重要な役割を担っていたんだけど、利用者の減少や国鉄が民営化になり、並行道路の整備も進んだことから、深名線は平成7年9月3日に廃止路線となっちゃったんだ。

それで今では鉄道じゃなくて、バスが運行しているんだ。
僕もジェイ・アールバスに乗っているよ。



うん! 当時は、鉄道が廃止になるということは、町民みんなが頭を悩ませていたんだけど、鉄道の利用者が年々減少していることや、大赤字路線としてこれ以上の運行が厳しい現状がどうしてもあったんだ。

それで、“住民の足の確保を”ということで「バス輸送が地域に最も適した輸送手段である」として、鉄道廃止日の翌日からJR北海道直営バスによって代替運行がスタートしたんだ。

現在のジェイ・アールバスの運行状況ってどうなんだろう。幌加内町も人口が1,500人を下回ってしまったし、深川市も名寄市も人口が増えてはいないよね…。



平成8年度では一日302人の乗車人員があったんだけど、平成30年度には、一日67人まで利用者が減少しているんだ。

幌加内町だけをみると、深川駅から幌加内、朱鞠内から名寄までは一定の利用はあるんだけど、特に政和地区から朱鞠内までの利用者はとても少ないんだ。

平成30年度の収支では、深名線にかかる収入が1,500万円に対し、支出が1億2,300万円と大幅な維持管理や燃料費がかかっているんだよ。

ええ、そんなに!! 将来的にはバスの維持も大変になってくるけど、今の現状を維持しているのは、ジェイ・アール北海道バス会社の経営努力のお陰なんだね。

でも、今はまだ、僕は一人で車の運転ができるけど、これから先、年をとって運転ができなくなったとき、どうしたらいいんだろう。



自家用車が普及したいまでも、高校生や高齢者など車の運転が出来ない人、今後、車を手放そうとしている方にとっても、バスは通勤・通学・買い物・通院など日常生活で非常に欠かせない交通手段となっているんだ。

利便性の確保や付加価値を高めながら、将来にわたり安全で安定した確保が求められるので、公共交通の積極的な利用が必要なんだ。

そのため幌加内町では、利用者の皆様にお得な助成券を発行しているんだ。皆さん、ぜひ活用してみよう♪

①バス回数券助成

【助成対象者】本町に住所を有する65歳以上の方及び幌加内高校生

【助成率】800円で1,100円分の回数券を購入できます。

【購入先】：役場出納窓口

※上記の条件以外の方は、1,000円で1,100円分の回数券を購入できます。

②バス定期券助成

【助成対象者】本町に住所を有する高校生、大学生、

各種高校生及び本町に住所を有する65歳以上の方

【助成率】20%以内

